

さんようおのだ 議会だより

2016.8

埴生地区複合施設	— 2
委員会レポート	— 3
議決結果	— 3
一般質問	— 4
議会報告会	— 8



紙芝居を使った
議会報告会

埴生地区複合施設

再提案され可決

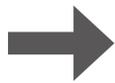
7月臨時会（7/5～7/8）が開催されました

3月議会で、市が提案した埴生地区複合施設整備事業について、議会は「建設場所を再考してほしい」と建設費の大半を削除して修正可決しましたが、7月臨時会が開会され、3月に提案された同じ場所に建設する予算案（一般会計補正予算（第3回））が再提案されました。

これまでの経緯

3月の修正理由は

- ① 14回の意見交換会での場所決定の市民合意に問題がある。
- ② 学校隣接による児童生徒の安全性の問題がある。
- ③ 埴生の将来のまちづくりの観点から問題がある。



4～6月

総務文教常任委員会で調査しました

◇明らかになったこと

- * 学校施設入り口両側に歩道を設置し、安全性を確保する。
- * 青年の家の整備は平成32年度以降となる。
- * 5回の市民懇談会では、埴生中隣接地を望む声、青年の家を望む声など意見が大きく二つに分かれ、提案場所が埴生地区の総意であると判断することは困難である。



← 市民懇談会

委員会では否決、本会議で可決されました

一般会計予算決算常任委員会では、質疑の後、自由討議を行いました。その中で建設場所について埴生中、青年の家のどちらかではなく、新たに「現在地での建て替えなら理解が得られるのではないか」という意見が出ました。その後の採決では、賛成反対ともに4人で委員長裁決の結果、否決となりました。しかし、本会議では、以下のような賛成反対討議があり、10対9で可決となりました。（賛否の結果はP3参照）

賛成討論

- ・ 地域住民全体の学社融合が必要不可欠
- ・ おおむね市民合意を得た
- ・ 一定の行政手続は踏まえている
- ・ 児童生徒の安全確保が前進した

反対討論

- ・ 意見交換会が唯一の市民合意の場で、決定した経緯が不十分
- ・ 地域住民の対立感情が融和され、議会内での歩み寄りが図れるのは、現在地である

委員会レポート・議決結果

■ 一般会計予算決算常任委員会

予 算

●一般会計補正予算（第2回）

スポーツ交流施設整備事業

概要 本市ではスポーツによるまちづくりを推進する中、本市をホームタウンとするレノファ山口の練習拠点となるクラブハウス機能を備えた交流施設建設のため、歳入歳出それぞれ1億4191万8000円を増額し、予算総額をそれぞれ287億7623万6000円とするものです。

主な論点

急な議案提出の理由

「閉会間際になぜ議案を提出することになったのか」の質問に「県から県立サッカー場の中に山陽小野田市が練習拠点として建物を建設することを承諾するという正式発表があり、それを受けて急ぎ提出した」との答弁がありました。

一般利用者への影響は

「芝グラウンドの一般の利用者に影響はないか」との質問に「レノファの練習は、平日の日中なので重複するようなことはない」との答弁がありました。

経済効果の試算は

「選手の住居を含め、経済効果の試算は」の質問に「選手、スタッフ、家族も含め40人前後となるが、目標30人に住んでもらう努力をする」との答弁がありました。

レノファの負担などは

「建設費用や維持管理費は大きな負担になるが、今後についての考えはどうか」の質問に「建設費の5割負担を目標にレノファと交渉を進めたい。維持管理費についても、関係団体に協力をお願いしていく」との答弁がありました。

結果 全員賛成で原案可決

◎議案に対する議員の賛否状況

5月臨時会で議案等6件、6月定例会で議案6件、7月臨時会で議案1件を審議し、賛否の分かれた2件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。

全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。



平成28年5、7月臨時会 議案の審議結果	議決結果	議員名																			
		石田清廉	伊藤眞	岩本信子	大井淳一朗	岡山明	小野泰	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	下瀬俊夫	杉本保喜	中島好人	中村博行	長谷川知司	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	尾山信義
山陽小野田市税条例等の一部改正に関する専決処分について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	/
平成28年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について	原案可決	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	/

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席 尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

委員会レポート・一般質問

■ 民生福祉常任委員会

◎国民健康保険料の改定

中低所得層に配慮

6月に改定された国民健康保険料について所管事務調査をしました。

概要 昨年の一人当たり医療費は県下6番目で年々増加していますが、国の制度改正や基金の取り崩しにより中低所得者層に配慮した保険料に改定しました。

質疑 「医療費は上がったのに保険料率を引き下げた理由は」との質問に「国は制度改正で中低所得者層への配慮を考えており、その考えに沿ったものである」との答弁がありました。「年間所得200万円から300万円程度の世帯を中心に引き下げたのか」との質問に「所得の高い世帯を除き全体的に引

き下げた」との答弁がありました。

【モデル世帯での保険料比較】

*夫40歳(自営業)、妻(無職)、子ども1人(3歳)の世帯の場合

年間所得	今年度	前年度
112万円	207,370円	258,820円
300万円	592,410円	602,820円
500万円	882,440円	850,000円

病院、診療所の偏在を考える

松尾数則 議員

問 中山間地域を含め、病院、診療所が偏在していることについて考えを聞きたい。

答 日本全体で病院、診療所が偏在している。県内においても医師の偏在は著しい。経営的に成り立たないと開業が難しいことが大きな理由と思われるが、市民病院としては支援できるほどの人的余裕はない。大変申し訳ないが今後も病院、診療所の偏在といった状況は続くと思われる。



若者の声を反映する市でなければ

吉永美子 議員

問 若者の意見を聞く会議の設置を何度も訴えてきた。このたび、第2次総合計画の策定に当たり、初めて設置する「若者会議」の継続性や発展性をどう考えているのか。

答 今回実施する若者会議の開催を通して、少しずつ市としてノウハウの構築に努めて、若者の意見を取り入れることのできる環境をまずは整備していきたい。

今、国全体の中で、若者の意見をいかに入れていくかということが本当に叫ばれている。本市としては、残念ながらこれからであることを痛感している。





一般質問

行政改革の実現は？

岩本信子議員

問 山陽小野田市行政改革大綱アクションプランでは、アウトソーシング計画の作成・実施は「未実施、検討中」となっているがなぜか。

答 現在、各課とアウトソーシングの内容を協議しており、まだ具体的な計画には至っていない。ある程度の推進内容が決まれば計画策定を考えているが、個別に協議が整っていない。取り組み方針として推進したいが、残念ながら実施できないことが実情である。



子どもの貧困対策を

中島好人議員

問 子どものいる世帯の生活実態は、厚生労働省調査で「大変苦しい」と「苦しい」を合わせると67.4%もある。全国保険団体連合会の調査では、経済的理由で治療の中断を経験した医療機関は、医科で34.9%、歯科で51.7%となっている。本市の子どもの貧困実態を把握し、具体的な対策を講じるべきではないか。

答 子どもの貧困をどう緩和していくか、市長部局、教育委員会、その他関係課や学識経験者の方にも参加してもらって、協議する機会を持ちたい。



住んで実感し、まちづくりを！

河野朋子議員

問 まちづくりの重要な役割を担うべき市の職員は、このまちに住んで実感し、それをまちづくりに生かすべきだと思う。476人中87人が市外に居住、そのうち約70%が宇部市で、市外居住者の割合が高いことに驚いたが、市長はどのように考えるか。

答 同感である。居住の自由はあるが、市長の希望としては、市の職員は市内に住んでもらいたい。その希望の具体的な表れとして、せめてふるさと納税はお願いしたいと繰り返している。



施設建設に民意が反映されたか

矢田松夫議員

問 埴生公共施設再編場所を決めるに当たり、民意の点で全て満足をしているのか。民意の手法を点検する限り、市長の政治信条の「公平公正」が根底から崩れたと思うがどうか。

答 国道190号より海側に公民館等を建てないでという市民の声を事業に反映した。100%素晴らしい位置に建てることができるとは思わない。適当な場所を選択することに苦労もいるが、合併特例債も利用して建てのならここだと思い決断をした。



国道より海側にある青年の家



一般質問

道路の空洞化対策は進んでいるか

岡山 明 議員

問 道路パトロールによる目視確認では、路面下の空洞を発見することは非常に難しく、目視調査には限界がある。そのために、路面下空洞探査のための地中レーダー技術を用いた調査方法がある。技術的根拠のもとで安全を保障することが大事ではないか。

答 市では一部路線を除いて計画はしているが、実施に至っていない。必要性は十分認識しており、国の交付金事業を活用しながら予算確保に努め、年次的に実施して安全な通行を確保したい。



公共施設の現状と再編整備計画は

石田 清廉 議員

問 市の公共施設は多くが老朽化している。大規模改修や建て替えに伴い、膨大な更新費用が将来必要となる。財政計画、財源確保など、公共施設マネジメントはできているのか。

答 施設の更新費用や適正配置など、維持管理費は今後40年間で約1233億円、年平均約31億円と試算される。公共施設等総合管理計画を策定し、再編整備、財政運営や財源確保など総合的にマネジメントし、全庁体制で取り組んでいる。



空き家が目立つ
公営住宅

支払いやすい国民健康保険料に

山田 伸幸 議員

問 市の国保世帯は平均所得が150万円から180万円の低い状況でありながら、年間25万円程度の高い保険料が課せられている。そこで合計で約9億円ある繰越金と基金を活用して、支払いやすい保険料にしてはどうか。そうしないと収納率のアップにつながらないのではないのか。

答 市の保険料は高いという認識は持っているが、約2億円の基金をつぎ込んでも現状維持が精いっぱいである。収納率アップも求められており、今後も県単一化をにらみながら基金の活用を考えていきたい。



検討後も残る不公平と差別

長谷川 知司 議員

問 昨年の一般質問でも言ったが、中学生海外派遣事業の生徒選考（市内6中学校から各1名）は、学校間の該当生徒数に10倍以上の差があり不公平である。また市外の学校に通学の中学生には応募する権利が与えられず差別である。このことについて一年間検討したというが、根本問題は解消されていない。

中学生に罪はないのに、この不公平や差別の実態を市長はどう思うのか。

答 見解はさまざまで、違法だとは断言できない。



派遣先のモートン
ベイの風景



一般質問

サッカー以外のスポーツ活性化は

杉本 保喜 議員

問 「市スポーツによるまちづくり推進計画」において、サッカー以外のスポーツを楽しむ市民の思いをどのように捉えて、市の活性化を図っていくのか。

答 推進計画には、スポーツ環境整備も含んでいるので、緊急性のあるものには素早く対応しながら計画的に施設の修繕、修復を含む環境整備を行っていく。



物見山総合公園の維持管理は悪い

笹木 慶之 議員

問 古くから地域住民の憩いの場であるこの公園は、地域の願いを込めて昭和46年都市公園として機能強化された。遊歩道、展望台、休憩所、キャンプ場、花木園及び菖蒲園などを整備し、桜の植栽も行い四季を通し多くの人が訪れている。しかし近年維持管理の状態が十分でなく公園機能さえ損なわれている。早く適切な対応をすべきではないか。

答 指摘の通り、展望台からの景観、花壇・園路の維持管理等状態は決して良くはない。にぎわいを保てる公園として対応していく。



物見山総合公園

早急に地震対策の見直しを！

伊藤 實 議員

問 大地震が起きないと言われていた地域での熊本地震は同様の自治体に衝撃を与えた。道路、水道、橋梁などインフラが崩壊し市民生活に多大な影響を及ぼしている。本市としても予測できない地震への抜本的な対策の見直しが急務ではないか。

答 今回の地震から得た課題や教訓を分析・整理し、今後の対策に生かしたい。

現在、市内には歩道橋も含めて224橋あり、菊川断層をもとに最大震度6強を想定して診断業務に入っている。



白井市長は弁護士か？

下瀬 俊夫 議員

問 ベトナムに公務出張した職員が、①現地業者と飲食し②飲食代を業者が支払い③それをゼネコンが立替え払いし④昼食代の請求がなく⑤出張命令の1ヵ月前に航空チケットを購入しているのはなぜか。県警の事情聴取を受けた職員に対して、弁護士のような対応を白井市長はなぜするのか。

答 職員はすべて支払いは完了していると確認したが、領収書は不明だ。職員から報告を受け、市長として県警に要請しただけだ。



子育てママに会いに行きました

初の試み!

議会報告会の一環として、7月12日から28日までの間で、子育てサークルやクラブ5か所を訪問し、子育てについて直接、ご意見やご要望をお伺いしました。

お母さんたちからは、「子育てについての相談相手が欲しい」「育休後の再就職が不安」「子どもとの居場所が欲しい」「小学校の夏休み期間中、児童館が使えず交流の場がない」などの切なる声をいただきました。

市議会として初めての試みでしたが、とても有意義なものとなりました。今後も、市民の皆様と直接対話する、このような取り組みを続けていきたいと考えています。



お知らせ

9月定例会会期日程(予定)

本会議の日程

9月定例会の日程(案)をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

開会時間は午前10時です。

(一般質問は午前9時30分から)

月 日	本会議
9月 2日(金)	議案上程・説明
9月15日(木)	一般質問
9月16日(金)	一般質問
9月20日(火)	一般質問
9月21日(水)	一般質問
9月28日(水)	質疑・討論・採決

編集室より



先月、宇部市議会と議会運営や山口東京理科大学の活用などについて意見交換をしました。これまで議会同士で腰を据えて議論したことがなかったこともあり、学ぶことも多く、大変有意義なものとなりました。

これからも定期的に意見交換会を開催し、市民にとって身近で開かれた議会となるよう切磋琢磨してまいります。

◎広報広聴特別委員会

委員長 長谷川 知司 副委員長 河野 朋子
 委員 大井 淳一郎 委員 笹木 慶之
 委員 下瀬 俊夫 委員 中村 博行
 委員 矢田 松夫 委員 山田 伸幸
 委員 吉永 美子

《表紙の説明》今回、訪問した子育てサークルやクラブは、児童館や保健センターで、遊びなどを通じ、親子のふれあいや交流の場を提供するための活動をされています。議会報告会では「市議会って何じゃろ?」の紙芝居を使って議会の活動もお伝えしました。